

(株) 誠心堂薬局主催 誠心堂薬局創業 35 周年記念 妊活セミナー第 3 弾



2022年5月22日
木場公園クリニック 吉田淳院長と
誠心堂薬局 趙貞華先生による妊活
セミナーを開催

2022年5月22日にAP東京八重洲にて、第3弾となる『妊活セミナー〜いよいよ始まる！不妊治療の保険適用』が開催されました。講師には、東京都江東区にある木場公園クリニック院長である吉田淳（よしだあつみ）先生をお招きし、本年4月から開始された不妊治療の保険適用やWithコロナ時代の不妊治療について、高度生殖医療の専門医というお立場から、わかりやすく丁寧に講演いただきました。また、誠心堂薬局からは、前回に引き続き、中医学アドバイザーの趙貞華（ちょうていか）先生が、不妊症に対する中医学の考え方や漢方・鍼灸の有効性、さらにご自身の相談経験などについて講演されました。

春から3回にわたり開催してきた高度生殖医療専門医とのコラボセミナーのラスト講演ということもあり、不妊治療中のご夫婦を中心に多くの方にご参加いただきました。女性参加者のうち50%は40歳以上で、年齢による制限がある今回の保険適用制度への関心が強く伺えました。

第一部 趙貞華先生
「妊娠・出産率を高めるための
漢方や鍼灸について」



中国伝統医学である中医学に基づいた不妊治療の考え方について、趙貞華先生からご講演いただきました。趙先生は、中医学の専門家である中医学アドバイザーである傍ら、日本の鍼灸師の資格を持ち、漢方と鍼灸それぞれの具体的な治療法や有効性だけでなく、併用することによる相乗効果についてもお話しされました。さらに、早発卵巣不全や黄体機能不全といった症状に対し、データやエビデンスに基づき中医学の有効性を示されていました。ご自身の相談による体験談の紹介では、AMHが著しく低下している例や子宮筋腫・卵巣嚢腫を併発している例、習慣性流産の例など多岐にわたり、同じような悩みを抱えられている方にとって、とても価値のある講演内容だったかと思えます。

参加者 VOICE //

中医学の効果や実績を知ることができ、体作りをしていく参考になりました。食材など取り入れていきたいです。



吉田 淳 先生

木場公園クリニック理事長

東京警察病院産婦人科、中央クリニック（栃木県）、東邦大学泌尿器科にて男女の不妊症治療を学び、1999年に木場公園クリニックを開設。産婦人科専門医、泌尿器科医、生殖医療専門医、臨床遺伝専門医。



趙 貞華 先生

中医師・中医学アドバイザー
鍼灸師・登録販売者
中国漢方普及協会学術副委員長
誠心堂薬局学術部部长

第二部 吉田淳先生 「Withコロナ時代の不妊治療」

吉田淳先生は、本年4月から開始されたばかりの不妊治療の保険適用について、それまで行っていた自費診療と現在の保険適用における診療法の違いなどを、ご自身の治療経験をもとに詳しくお話くださいました。今回の保険適用制度では、費用の大幅な負担軽減があり、日本全国どこで



も費用が統一されるなどのメリットがあるため、患者さんが望まれるなら積極的に保険診療で取り組みたいとお話がありました。その一方、年齢制限や治療内容の制限があるのも事実であり、保険診療と自費診療の混合診療は認められないため、工夫しながら取り組む必要があることや、難治性不妊の方などは検査や治療法に幅広い選択肢がある自費診療でないと難しいことなど、長年高度生殖医療に携わってきた専門医ならではの見解もお話くださいました。

女性だけでなく、男性不妊の専門医でもある吉田先生からは、不妊における男性特有の悩みや精子や精液検査についての説明も多くあり、男性の参加者がひととき真剣に話を聞かれている姿も見られました。



また、保険適用以前は不妊治療に良いと言われる漢方や鍼灸、サプリメントなどを自身のクリニック内でも取り入れていたが、保険適用で混合診療が認められなくなったため、このような統合医療は分業

になるとお話がありました。「今後妊娠に良いものはそれぞれ積極的に取り入れてほしい」という先生のお言葉に、ご自身のクリニックだけでなく、漢方や鍼灸などを含めた他分野と力を合わせながら患者様に寄り添っていきたいと考える、先生の患者様ファーストなお人柄を感じることができました。

参加者 VOICE //

保険診療と自費診療は併用できないことを知らなかったのが勉強になった。話が軽快で時間もあっという間でした。とても誠実なお人柄が伝わった。



参加者 VOICE //

卵子と精子の老化を少しでもゆるやかにするために、様々な治療が必要ということがわかりました。西洋医学と中医学の併用が有効であるとわかりました。



参加者 VOICE //

インターネットでは情報が多すぎて、頭の中では整理が難しい。セミナーだと重要な点を教えてくださるのでわかりやすく、大変助かります。



今回のセミナーを通して

4月より開始された不妊治療の保険適用は、今まで費用の面で不妊治療に対してハードルを高く感じていた方にとって、前向きに取り組む良いきっかけになっているのではないかと思います。特に若い世代の不妊で悩むカップルにとっては、専門のクリニックに足を踏み入れやすくなったことは間違いありません。

しかし、その一方で、今回の保険制度では、保険治療が自費診療と併用できないことや、年齢による治療内容の制限などが存在します。治療を受けるカップルのおかれている状況によっては複雑な治療法が求められる場合、より戦略が必要になったことも確かです。特に、年齢による体外受精の回数制限はとて大きな問題であり、卵子の質や精子の質についての意識や考え方が、今までよりも強くなるのではないかと推察されます。

漢方や鍼灸といった中医学では、卵子や子宮、精子や精巣にアプローチし、妊娠しやすい身体作りを行うことを得意としており、西洋医学による不妊治療をサポートできる立場にあります。吉田先生の「統合医療は分業時代へ」というお言葉通り、それぞれの専門性や得意分野を活かし、共同で行う治療の必要性は今後ますます加速するでしょう。誠心堂薬局では、現在行っている治療だけではなく上手くいかないうちに、少しでも妊娠の可能性を提供できるよう、今後もスタッフ一同サポートさせていただきたいと思っております。

記/森田 ちひろ（誠心堂薬局）